



『一人ひとりが仲間を大事にする』

活気あふれる学校に』

保健主事・特別支援コーディネーター 永田 智子

みなさん、毎日の学校生活はどうですか。

私は、皆さんの「明るい・元気・素直」なところが大好きです。この「明るさ、素直さ」をみんながもっと大切にできれば、長崎明誠高校は、今以上に「活気あふれる魅力ある学校」になると思います。私が願う「活気あふれる魅力ある学校」は、「一人ひとりが仲間を大事にする学校」です。お互いに助け合い、認め合い、切磋琢磨することで、「一人ひとりの良さが引き出されます。一人ひとりの良さが認められると、その集団はとても大きな力を発揮できると思います。それは、勉強やスポーツなど自分の目標達成や自己実現に繋がるものです。

みなさんとの会話の中でよく耳にすることがあります。〇〇さんから、〇〇と言われた。」などなど。ちょっとした周囲の人の言葉に悩んだり、腹を立てたり。話を聞くと、それは、相手があなたのことを思いやることでの

発言だったり、その集団のことを考えての発言だったりもします。

何事も自分のとらえ方し方で、良くも悪くも感じられるものです。自分に対しての悪意としてとらえるのではなく、自分に対してのアドバイスとしてとらえれば、素直に「ありがとう」と考えることができるのではないのでしょうか。いつも前向きに考えるようにできれば、ちょっとしたいざこざも大きくなる前に解決できるように思います。自分のとらえ方し方で、ストレスなくスムーズな人間関係を築けるものだと私は思います。

ストレスになることを言われたり、されたりしたら、自分の気持ちや考えを相手に「素直」に伝えてみましょう。このことは、これから社会で生活していくうえで、とても大事なことだと思います。

仲間を認める。」

人はいろいろな性格があり、また、人それぞれ育った環境も違います。だから、いろいろ考え方や価値観をもっています。自分と同じような考え方や同じような価値観を持っている人もいれば、まったく違う考え方や価値観を持った人もいます。自分から見て少し違うと思う人や自分の仲間とは考え方が違うと思う人がいても、攻撃や阻害する等の意地悪はしないで、そっと見守る「ようにしてほしいものです。そのことが、仲間を認めることだと私は考えます。

学校生活では、楽しいことばかりではなく、時には悩むこともあると思います。そういうときは、一人で悩まずに保護者や友人、先輩、先生に話をして下さい。話をすることで、心が軽くなったり、解決への方向へ向かったりします。

皆、同じ学び舎で、それぞれの自己実現に向けて日々勉強やスポーツに頑張っている仲間です。この出会いを大切に、共に学んでいる仲間を大事しましょう。そして、自分の母校を誇りに思えるように、みんなで「活気あふれる魅力ある学校」にしていきましょう。

保護者面談のお知らせ

12月12日（木）から、1、2年生は第2回の保護者面談を実施します。この面談では、成績や進路に関することはもちろん、次年度の時間割についての確認も行う大切なものです。生徒の皆さんは保護者、担任の先生としっかりスケジュールを確認し、スムーズに面談が進むように準備しておきましょう。



長崎地区公立高等学校PTA研修会を終えて

11月16日（土）に長崎県総合福祉センターにおいて、標記の研修会が実施されました。この研修会は、公立高等学校PTA連合会の活動の一端として長崎地区のPTA活動の充実を図るために開催されているもので、PTAの様々な活動報告、講演等が行われました。

また、今回は本校のPTA副会長、松尾南美江さんが一人一役の取組みの様子や成果などを発表しました。長崎地区ではそれほど多くない取組みのため、参加者も関心をもって耳を傾け、活発な質疑応答も行われました。

この研修会も一人一役の活



12月の主な行事

- 1日(日) 3年河合塾センタープレ
- 2日(月) 修学旅行結団式(2年)
- 3日(火)~6日(金) 修学旅行(東京)(2年)
- 7日(土) 土曜講座
- 12日(木) 面談集中週(~24日)・制服定期販売
- 14日(土) 3年北予備センターファイナル(~15日)
- 14日(土) 1・2年県下一斉実力
- 21日(土) 土曜講座
- 24日(火) 全校集会 表彰伝達
- 25日(水) 冬季補習(~27日)
- 25日(水) 3年河合塾Kパック

部活動戦績報告 九州大会等

柔道部

九州高校新人大会

団体	5位
個人	48 <small>キ</small> 級 押領司万純 ベスト4
	山本 弓華 ベスト4
	52 <small>キ</small> 級 高屋 歌鈴 優勝
	吉田 優奈 ベスト4
	57 <small>キ</small> 級 松浦ゆうき ベスト16
	63 <small>キ</small> 級 大内 聖琉 優勝
	70 <small>キ</small> 級 永松 聖葉 ベスト16
	78 <small>キ</small> 級 川崎 凛 ベスト16
	78 <small>キ</small> 超級 川口 鈴王 優勝
	精末 栲 ベスト4

弓道部

九州高校新人選手権

男子	個人	金丸 廉	5中/8射	予選敗退
女子	個人	道脇 愛理	5中/8射	予選敗退

ポード部

全国高校選抜ポード九州予選

男子	ダブルスカル	鼓・大竹	6位
女子	ダブルスカル	西田・川内	5位

吹奏楽部

まじっぴ音楽コンクールアンサンブル部門

打楽器3重奏 市川・池側・居原

金賞 最優秀グランプリ

金管5重奏 馬場・梶原・若杉

木管8重奏 橋口・空閑・上野

須田・川下・宮本
長尾・松本

銀賞



薬物乱用防止講話

10月31日(木)のLHRの時間を使って、薬物乱用防止講話が行われました。今年度は「未来があるから薬物にNO!」という生き方を」というDVDを全校生徒で鑑賞し、薬物の怖さや依存性の恐ろしさを改めて学習することができました。DVDの中で、薬物依存症患者の治療に携わっている医師の方は、薬物は人としての成長を大きく妨げてしまいが、治療が非常に難しいこと。そして、薬物依存には、対人関係の問題が関わっており、本音が言えない、自分に自信がない、人を信用できないなど、孤独を感じる人が依存に陥りやすいことなど話していました。最後に、薬物依存にならないために皆さんへ向けて、薬物依存は誰にでも起こる可能性がある。なので、そうならないためにも悩みを一人で溜め込まない、信頼できる大人や友人に助けを求めることが大切であるとメッセージを送ってくれました。



人権同和教育

11月14日(木)のLHRで人権同和教育を行いました。今年度は県教育委員会が作成した『SNSノートながさき』を用いて、SNSを利用する際に生じる人権問題やトラブルなどがなぜ起こるのかについて、クラスで話し合いながら考えました。自分と相手との違いを認識し、相手の気持ちを想像した言動を心掛けることが大切です。人権問題に関わる知識を深め人権意識を高めるとともに、SNSの有効な活用方法について学びました。

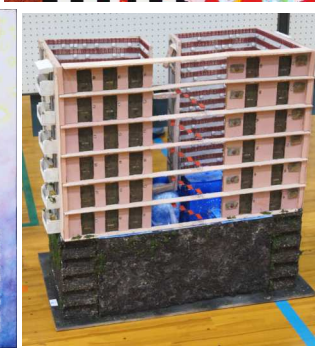


保健講話

11月7日(木)のLHRの時間に学校薬剤師の植田睦美先生をお招きして「薬を服用すれば病気は治る?」学校薬剤師の仕事と健康な生活へのヒント」と題して、1年生を対象に保健講話が行われました。植田先生から、最初に学校薬剤師の仕事について簡単に説明があった後に、私たちが普段服用している薬には直接病気を治す作用はなく、あくまでも自然治癒力を助けるものであるため、むやみに薬を服用しても病気を治すことには繋がらないということを学びました。その後、生徒たちが普段飲んでいる清涼飲料水1本の中に含まれている糖の量を計算しました。その量を市販のスティックシュガー(3g)に換算すると、10本分を超えるものもあり、生徒たちは驚きを隠せない様子でした。また、1日に必要な糖分量が10gであることを考えると、飲料1本分でも何日分の糖分を摂取しているのかも知り、健康な生活を送るためにはどんな行動を心掛ければ良いかについて改めて考える機会となりました。

県高等学校総合文化祭 美術部門

デザイン部門 東 心藍 (3年1組) 優秀賞
現代アート部門 的場 梨乃 (2年2組) 優秀賞
デザイン部門 丸尾 ひかり (1年1組) 優良賞



右上) 鏡花水月「東心藍
右下) 彼女の城砦」的場梨乃
空下) ちよっと待って」

丸尾ひかり

